

熊本県感染症情報 (第51週)

県内154定点医療機関からの報告数 12/19 ~ 12/25

No.	疾患名	今週	前週
1	インフルエンザ	110	91
2	RSウイルス感染症	24	29
3	咽頭結膜熱	12	8
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	6
5	感染性胃腸炎	378	320
6	水痘	14	5
7	手足口病	43	30
8	伝染性紅斑(りんご病)	1	1
9	突発性発しん	21	15

No.	疾患名	今週	前週
10	ヘルパンギーナ	31	30
11	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1	5
12	急性出血性結膜炎	0	0
13	流行性角結膜炎(はやり目)	5	1
14	細菌性髄膜炎	0	0
15	無菌性髄膜炎	0	0
16	マイコプラズマ肺炎	0	0
17	クラミジア肺炎	0	0
18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0

各疾患別定点医療機関数			
No.1	: 80	No.12, 13	: 9
No.2 ~ 11	: 50	No.14 ~ 18	: 15

【報告数の多い疾患】

地区別: 定点当たりの報告数が多い地域を順に記載

感染性胃腸炎

報告数: 378件 (前週: 320件)

地区別: 菊池、八代、御船

年齢別: 1歳

104件 (27.5%)

インフルエンザ

報告数: 110件 (前週: 91件)

地区別: 熊本、有明、御船

年齢別: 6歳

15件 (13.6%)

手足口病

報告数: 43件 (前週: 30件)

地区別: 熊本、菊池、宇城

年齢別: 1歳

22件 (51.2%)

【梅毒かも？と思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。】

今週(第51週)は梅毒の報告が5件(今年累計: 195件)ありました。昨年同週の報告数は1件(昨年同期累計: 128件)で、近年の発生数も多いので注意が必要です。今年の全国の報告数は感染症法が施行された1999年以来初めて10,000件を上回り、熊本県の第1~51週累計報告数も最多となりました。症状などから梅毒かもしれないと思った場合には、早めに医療機関を受診し、治療につなげることも大切です。

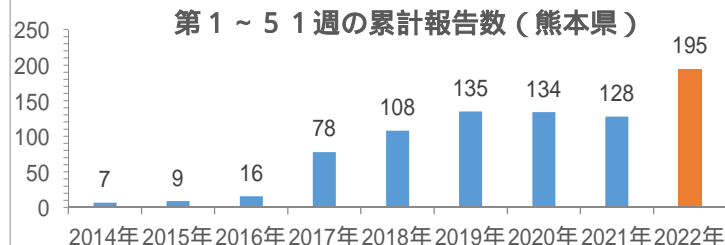
全国でも2013年から増加傾向にありますが、本県においては2017年に入ってから急増しています。男性は20~40歳代、女性は20歳代で多く報告されています。

【梅毒とは】(参考: 厚生労働省及び国立感染症研究所ホームページ)

- ・性的な接触(他人の粘膜や皮膚と直接接触すること)などによってうつる感染症です。潜伏期間は3~6週間程度で、経過した期間によって、症状の出現する場所や内容が異なります。
- ・感染初期(感染後約3週間)には、感染がおきた部位にしこりができたり、股の付け根部分のリンパ節が腫れたりすることがあります。治療をせずに3か月以上を経過すると、手のひら、足の裏、体全体にうっすらと赤い発疹が出る場合があります。感染後、数年を経過すると、皮膚や筋肉、骨などにゴムのような腫瘍が発生することがあります。また、心臓、血管、脳などの複数の臓器に病変が生じ、場合によっては死亡することもあります。
- ・妊娠している人が感染すると、胎盤を通じて胎児に感染し、死産、早産、新生児死亡、奇形が起こることがあります。

【予防方法】(参考: 厚生労働省及び国立感染症研究所ホームページ)

- ・感染部位と粘膜や皮膚が直接接触をしないように、コンドームを使用することが勧められます。ただし、コンドームが覆わない部分の皮膚などでも感染がおこる可能性があります。
- ・皮膚や粘膜に異常があった場合は性的な接触を控え、早めに医療機関を受診して相談しましょう。



梅毒が急増しています

○梅毒は、梅毒スピロヘータという病原体が性的な接触により感染する病気です。
○1999年以前は全国で梅毒(ペニシリン)の薬はほとんどが不足が原因で買えずにいたが、この数年、再び全国的に感染者が増加して、昔来でも急増しています。

○梅毒は、梅毒スピロヘータという病原体が性的な接触により感染する病気です。
○1999年以前は全国で梅毒(ペニシリン)の薬はほとんどが不足が原因で買えずにいたが、この数年、再び全国的に感染者が増加して、昔来でも急増しています。

○梅毒は、梅毒スピロヘータという病原体が性的な接触により感染する病気です。
○1999年以前は全国で梅毒(ペニシリン)の薬はほとんどが不足が原因で買えずにいたが、この数年、再び全国的に感染者が増加して、昔来でも急増しています。

予防が大切!

○梅毒は梅毒菌(梅毒スピロヘータ)という病原体が性的な接触により感染する病気です。
○1999年以前は全国で梅毒(ペニシリン)の薬はほとんどが不足が原因で買えずにいたが、この数年、再び全国的に感染者が増加して、昔来でも急増しています。

梅毒がどのような病気か知っていますか?

○梅毒は「1年〜10年」という潜伏期間が長い病気です。感染後、次のような症状があらわれます。症状があらわれなくても、感染している可能性があります。

第1期(感染後1か月前後)

○梅毒菌が皮膚や粘膜に侵入し、潰瘍(下疳)が形成されることがあります。また、リンパ節が腫れることがあります。

第2期(感染後1~3か月)

○体の全身に赤い発疹があらわれ、皮膚や粘膜に潰瘍が形成されることがあります。また、リンパ節が腫れることがあります。

第3期(感染後数年)

○体の全身に赤い発疹があらわれ、皮膚や粘膜に潰瘍が形成されることがあります。また、リンパ節が腫れることがあります。

早く発見し、きちんと治療を受けることが大切です!

○梅毒は早期に発見し、適切な治療を受けることで、ほとんどの人が完治することができます。また、感染している人から感染を防ぐことも大切です。

熊本県感染症情報 (第51週)

報告期間	第44週	第45週	第46週	第47週	第48週	第49週	第50週	第51週	第48週	第49週	第50週
	7週前	6週前	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週	全国3週前	全国2週前	全国1週前
	10/31~11/6	11/7~11/13	11/14~11/20	11/21~11/27	11/28~12/4	12/5~12/11	12/12~12/18	12/19~12/25	11/28~12/4	12/5~12/11	12/12~12/18
インフルエンザ	0	1	4	5	26	40	91	110	636	1,238	2,592
	0.00	0.01	0.05	0.06	0.33	0.50	1.14	1.38	0.13	0.25	0.53
RSウイルス感染症	43	58	52	21	36	22	29	24	1,579	1,707	1,498
	0.86	1.16	1.04	0.42	0.72	0.44	0.58	0.48	0.50	0.54	0.48
咽頭結膜熱	10	5	5	9	11	4	8	12	427	421	493
	0.20	0.10	0.10	0.18	0.22	0.08	0.16	0.24	0.14	0.13	0.16
A群溶血性レンサ球菌	22	34	11	13	14	5	6	9	1,165	1,157	1,327
咽頭炎	0.44	0.68	0.22	0.26	0.28	0.10	0.12	0.18	0.37	0.37	0.42
感染性胃腸炎	150	184	238	264	231	324	320	378	11,994	13,757	15,600
	3.00	3.68	4.76	5.28	4.62	6.48	6.40	7.56	3.81	4.38	4.96
水痘	13	17	13	14	8	16	5	14	358	351	336
	0.26	0.34	0.26	0.28	0.16	0.32	0.10	0.28	0.11	0.11	0.11
手足口病	79	62	93	87	55	63	30	43	1,368	1,274	1,003
	1.58	1.24	1.86	1.74	1.10	1.26	0.60	0.86	0.43	0.41	0.32
伝染性紅斑	1	0	0	2	1	1	1	1	29	27	28
	0.02	0.00	0.00	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01
突発性発しん	24	21	33	21	24	25	15	21	781	735	756
	0.48	0.42	0.66	0.42	0.48	0.50	0.30	0.42	0.25	0.23	0.24
ヘルパンギーナ	25	44	43	33	42	27	30	31	579	529	398
	0.50	0.88	0.86	0.66	0.84	0.54	0.60	0.62	0.18	0.17	0.13
流行性耳下腺炎	4	0	1	0	2	0	5	1	111	113	130
	0.08	0.00	0.02	0.00	0.04	0.00	0.10	0.02	0.04	0.04	0.04
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	14
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.02
流行性角結膜炎	4	4	4	1	1	4	1	5	158	160	127
	0.44	0.44	0.44	0.11	0.11	0.44	0.11	0.56	0.23	0.23	0.18
細菌性髄膜炎	1	1	0	0	0	0	0	0	6	7	5
	0.07	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01
無菌性髄膜炎	2	1	0	1	0	0	0	0	11	8	10
	0.13	0.07	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.02
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	11	9	13
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.03
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	1
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	2	-	-
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-

上段:患者数、下段:定点一医療機関当たりの患者報告数

【1類～5類感染症(全数把握)の報告】

3類感染症

腸管出血性大腸菌感染症: 2件(今年43件)

5類感染症

クロイツフェルト・ヤコブ病: 1件(今年2件)

侵襲性肺炎球菌感染症: 1件(今年16件)

梅毒: 5件(今年195件)

参考

県内における腸管出血性大腸菌による感染者累計

(令和4年(2022年)12月25日現在)

令和4年(2022年) 43人(患者:22人 無症状病原体保有者:21人)

昨年同期 32人(患者:20人 無症状病原体保有者:12人)

【全国より一定点当たり2倍以上(3週連続)多い感染症】

(全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、全国の情報は1週間までの内容になります。)

インフルエンザ

伝染性紅斑

ヘルパンギーナ

【大きな流行が発生又は継続しつつある地域(保健所)】

感染性胃腸炎 : 菊池

水痘 : 山鹿

【病原体検査情報】

県保健環境科学研究所で病原体検査を実施した結果を記載しています。

季節性インフルエンザではどのウイルスタイプが主流かといった傾向を示しています。

インフルエンザウイルス検出状況(PCR検査結果) 2022/23シーズン(R4.9/5~)の累計

	A型			B型
	季節性 H1pdm(AH1pdm09)	H1(ソ連型)	H3(香港型)	
(今シーズン累計)	0件	0件	0件	0件
(昨シーズン累計)	0件	0件	0件	0件

呼吸器疾患病原体検出状況 第1週(R4.1/3~)からの累計

ライノウイルス	RSウイルス	パラインフルエンザウイルス	ヒトメタニューモウイルス	コロナウイルス	エンテロウイルス
40件 (41件)	9件 (4件)	3件 (7件)	0件 (0件)	0件 (9件)	2件 (0件)
アデノウイルス	その他				
3件 (1件)	6097件 (1530件)				

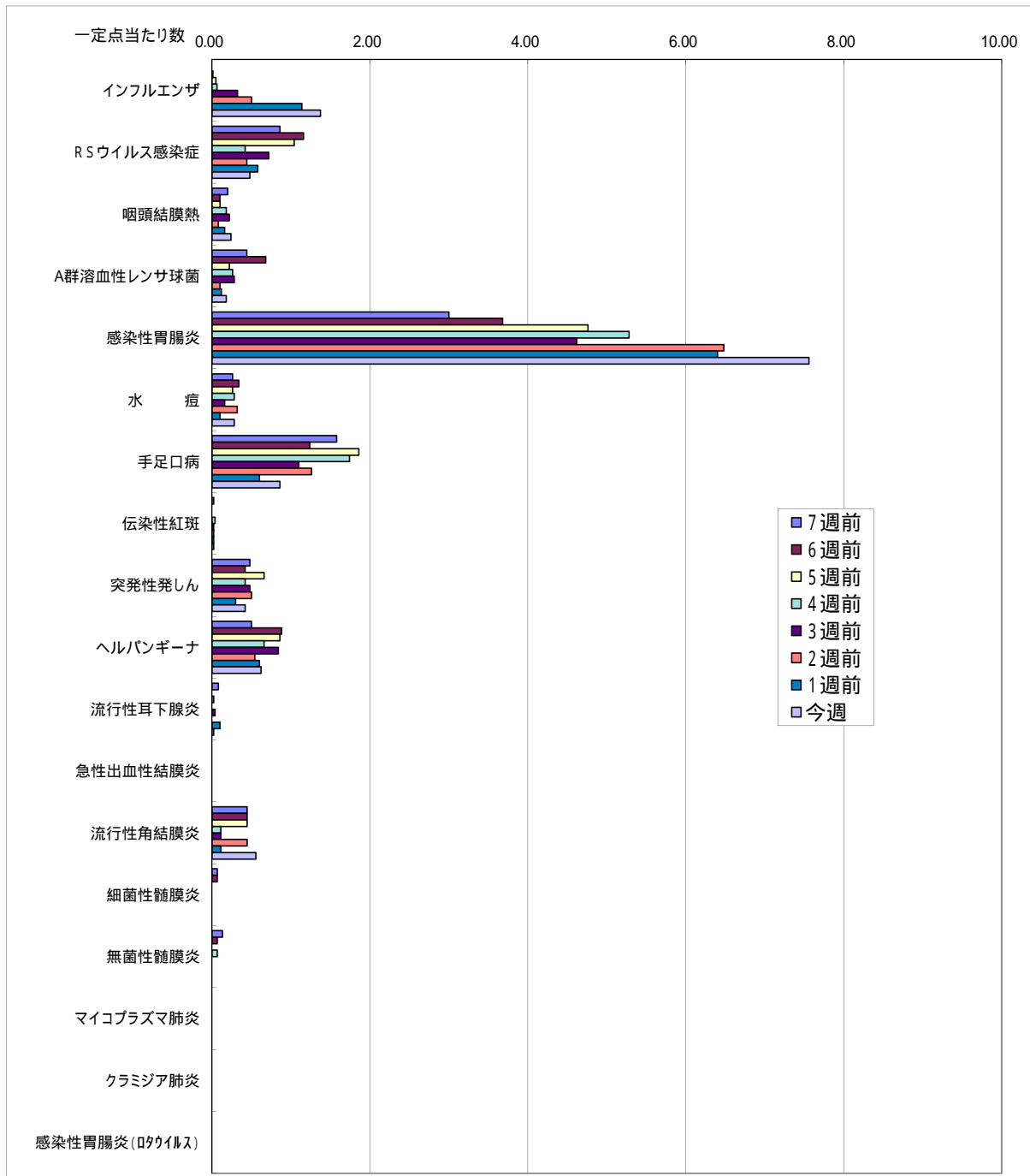
(かっこ内は昨シーズン累計)

感染性胃腸炎病原体検出状況 第1週(R4.1/3~)からの累計

ノロウイルス	サボウイルス	ロタウイルス	アストロウイルス	アデノウイルス	その他
0件 (3件)	2件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)	2件 (1件)	0件 (4件)

(かっこ内は昨シーズン累計)

一定点当たり週別発生状況の推移



一定点当たりの数値が10.00を超えた場合の推移は前の表で確認してください。

保健所別発生状況 (インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

第51週

	保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 球菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	急性 出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)
1	熊本市保健所	86	6	4	1	113	2	31	1	7	9	0	0	5	0	0	0	0	0
2	山鹿保健所	1	0	0	0	8	9	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	菊池保健所	1	10	2	7	98	1	8	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0
4	阿蘇保健所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	御船保健所	5	0	0	0	32	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
6	八代保健所	0	1	0	1	52	1	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0
7	水俣保健所	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	人吉保健所	1	0	0	0	11	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0
9	有明保健所	11	6	5	0	29	1	2	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0
10	宇城保健所	1	0	0	0	30	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
11	天草保健所	2	0	0	0	4	0	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	110	24	12	9	378	14	43	1	21	31	1	0	5	0	0	0	0	0

保健所別一定点当り患者報告数

	保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶連菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	急性 出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)
1	熊本市保健所	3.44	0.38	0.25	0.06	7.06	0.13	1.94	0.06	0.44	0.56	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	山鹿保健所	0.33	0.00	0.00	0.00	4.00	4.50	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	菊池保健所	0.13	2.00	0.40	1.40	19.60	0.20	1.60	0.00	0.40	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4	阿蘇保健所	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5	御船保健所	1.00	0.00	0.00	0.00	10.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.33	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6	八代保健所	0.00	0.25	0.00	0.25	13.00	0.25	0.00	0.00	1.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	水俣保健所	0.67	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8	人吉保健所	0.20	0.00	0.00	0.00	3.67	0.00	0.00	0.00	1.00	0.67	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9	有明保健所	1.38	1.20	1.00	0.00	5.80	0.20	0.40	0.00	0.20	1.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10	宇城保健所	0.17	0.00	0.00	0.00	7.50	0.00	0.50	0.00	0.00	0.50	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
11	天草保健所	0.29	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.50	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平均	1.38	0.48	0.24	0.18	7.56	0.28	0.86	0.02	0.42	0.62	0.02	0.00	0.56	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

